

mnOPC UA

Micronet OPC UA Server Software Release Notes

Version 1.0.3 Released: 2019/10/10

更新

- コードサイニング証明書の更新
 - 本製品に含まれる各ファイルのコードサイニング証明書^(※)を更新しました。
 - ※ コードサイニング証明書はソフトウェアにデジタル署名を行う電子署名用の証明書です。
ソフトウェアの配布元を証明し、なりすましや内容の改ざんなどがされていないことを保証し、ソフトウェアの完全性を証明します。

Version 1.0.2 Released: 2019/08/20

機能改善

- DSP(RTOS.INplc.App) bit 単位での Read/Write に対応
 - DSP(RTOS.INplc.App)において、データ型が Boolean(BOOL)の場合、メモリアドレスにビット位置を指定できるようになりました。この設定を行うことで、クライアントからデータの Read/Write を行う際に、指定したビット位置のビット値を Read/Write することができます。

Version 1.0.1 Released: 2019/07/01

新規機能

- タグ情報の範囲指定に対応
 - コンフィグレーションツールのタグ情報の設定において、範囲(最小|最大)を指定できるようになりました。この設定を行うことで、クライアントが値を書き込む際に、この範囲を見て 書き込み可否 を決定します。また、デッドバンドが参照する値としても使用します。
- 三菱製 PLC 接続対応 DSP のリリース
 - 三菱製の MC プロトコルが使用可能な PLC に対応した DSP を使用できるようになりました。
- オムロン製 PLC 接続対応 DSP のベータ版リリース
 - オムロン製の FINS コマンド通信が可能な PLC に対応した DSP を使用できるようになりました。
(上記 DSP はベータ版でのリリースとなります)
- mnOPC UA Utility のリリース

- Micronet OPC UA Server で公開している変数情報を確認するツールとして mnOPC UA Client Unit を使用できるようになりました。

Version 1.0.0 Released: 2019/03/01

- 新規リリース

機能

- INtime®リアルタイムアプリケーション 共有メモリ OPC オブジェクトデータリンク機能
- INplc I/M/Q メモリエリア OPC オブジェクトデータリンク機能
- 外部 PLC データエリア OPC オブジェクトデータリンク機能

mnOPC UA は、Micronet OPC UA Server と DSP(Data Source Provider)で構成するシステムです。リアルタイムシステム(INtime®・INplc)・Ethernet 接続 PLC(外部 PLC)のデータを収集し、データの読み込み(入力)、データの書き込み(出力)を行う DSP を用いることで、サーバーとデータソース間のシームレスなデータ連携を実現します。

※TenAsys®, INtime®, eVM® and iRMX® are registered trademarks in USA of the TenAsys Corporation.